

1.	①	11.	②	21.	③	31.	②	41.	②
2.	②	12.	②	22.	②	32.	②	42.	①
3.	④	13.	④	23.	③	33.	③	43.	④
4.	④	14.	③	24.	②	34.	④	44.	②
5.	③	15.	①	25.	④	35.	④	45.	④
6.	④	16.	①	26.	①	36.	②	46.	②
7.	④	17.	①	27.	②	37.	④	47.	③
8.	①	18.	②	28.	①	38.	①	48.	③
9.	①	19.	②	29.	③	39.	④	49.	①
10.	④	20.	①	30.	①	40.	②	50.	③

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「～をがっかりさせる」です。動詞の`disappoint`は、「～を失望させる、～の期待を裏切る」という意味です。相手の期待に応えられなかったり、期待外れの結果になったりして、人を残念な気持ちにさせることを表します。`The team's performance disappointed the fans.`（そのチームの成績はファンをがっかりさせた）。②「～を任命する」は`appoint`、③「消える」は自動詞の`disappear`、④「～を議論する」は`discuss`が適切な単語です。

◆補足：人が「がっかりする」という感情を表すときは、受け身の`be disappointed`の形を使います。`I was disappointed that he didn't come.`（彼が来なくてがっかりした）。`disappointing`（がっかりさせるような）と`disappointed`（がっかりした）の使い分けが重要です。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「胃、腹」です。`stomach`は、体の部分である「胃」や、その周辺の「腹部、おなか」を意味する名詞です。`I have an upset stomach.`（胃の調子が悪い、胃がむかむかする）。`He was lying on his stomach, reading a book.`（彼はお腹を下にして、本を読んでいた）。①「肩」は`shoulder`、③「胸」は`chest`、④「背中」は`back`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`stomachache`で「腹痛」を意味します。`I have a stomachache.`（お腹が痛い）。`on an empty stomach`で「空腹の状態、すきっ腹に」という熟語になります。`This medicine should not be taken on an empty stomach.`（この薬は空腹時には服用しないでください）。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④の`importance`で、「重要性、重大さ」を意味する名詞です。物事が持つ価値や影響力の大きさを表します。`The teacher stressed the importance of daily review.`（先生は毎日の復習の重要性を強調した）。他の選択肢は、①`import`が「輸入」、②`impression`が「印象」、③`improvement`が「改善」という意味です。

◆補足：`importance`は形容詞`important`（重要な）の名詞形です。`the importance of ~`の形で「~の重要性」としてよく使われます。`of importance`は`important`と同じ意味で、「重要な」という形容詞句になります。`This is a matter of great importance.`（これは非常に重要な事柄だ）。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④「息をする、呼吸する」です。`breathe`は、空気を吸ったり吐いたりする「呼吸をする」という動作を表す動詞です。`The air was so fresh that I wanted to breathe deeply.`（空気がとても新鮮だったので、私は深呼吸をしたくなった）。①「血を流す」は`bleed`、②「繁殖させる」は`breed`、③「くしゃみをする」は`sneeze`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞の「息、呼吸」は`breath`で、最後に`e`が付かず、発音も「ブレス」となります。動詞`breathe`（ブリーズ）と名詞`breath`（ブレス）のスペルと発音の違いは非常に重要です。`breathe in`（息を吸う）、`breathe out`（息を吐く）。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③の`in general`で、「一般的に、概して、普通は」という意味です。前の問題の`generally`とほぼ同じ意味で、文頭や文末に置かれて、一般的な傾向や事実を述べる時に使います。`In general, the earlier you book, the cheaper the ticket is.`（一般的に、予約が早ければ早いほど、チケットは安くなる）。他の選択肢は、①`in particular`が「特に、とりわけ」、②`in short`が「要するに」、④`in return`が「お返しに」という意味です。

◆補足：`in general`は、`on the whole`（概して）とも意味が近いです。これらの接続副詞的な表現を使いこなせると、文章に論理的な流れを作ることができ、英作文などで高い評価を得やすくなります。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④の`require`で、「～を必要とする、要求する」という意味の動詞です。規則や法律、あるいは状況によって、何かが不可欠であることを示します。`All visitors are required to show identification.`（全ての訪問者は身分証明書の提示を求められる）。他の選択肢は、①`inquire`が「～を尋ねる」、②`acquire`が「(知識や技術など)を習得する」、③`retire`が「退職する」という意味です。

◆補足：`require`は`need`と意味が似ていますが、`require`の方がよりフォーマルで、規則などで「要求される」という客観的な必要性を表す場合によく使われます。名詞形は`requirement`（必要条件、要求事項）です。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④の`percent`で、記号`%`で表される「パーセント」を意味します。全体を100としたときの割合を表します。`The survey shows that 60 percent of the people support the new law.`（その調査は、人々の60パーセントが新しい法律を支持していることを示している）。他の選択肢は、①`point`が「点、要点」、②`present`が「贈り物、現在の」、③`part`が「部分」という意味です。

◆補足：`percent`は、前に数字が付いても複数形の`s`は付けません（×`20 percents`）。`percentage`という名詞もあり、こちらは「百分率、割合」そのものを指します。`a high percentage of ...`（高い割合の…）。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「～のにおいがする」です。`smell`は、五感の一つである嗅覚に関する動詞です。`This perfume smells like roses.`（この香水はバラのようなにおいがする）。②「～の味がする」は`taste`、③「～のように見える」は`look`、④「～のように聞こえる」は`sound`です。これらは五感を表現する重要な動詞の仲間で、すべて第2文型（SVC）を作ることができます。

◆補足：`smell`は「～のにおいをかぐ」という能動的な意味でも使えます。`My dog likes to smell everything when we go for a walk.`（私の犬は散歩に行くと、あらゆるもののにおいをかぐのが好きだ）。また、名詞として「におい、香り」そのものを指すこともできます。`the smell of fresh coffee`（淹れたてのコーヒーの香り）。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①の`shadow`で、光が物に遮られることによってできる、輪郭のはっきりした「影」そのものを指します。`The children enjoyed making shadow puppets on the wall.`（子供たちは壁に影絵を作って楽しんだ）。他の選択肢は、②`shade`が日光が当たらない涼しい場所である「日陰」、③`shape`が「形」、④`show`が「ショー」や動詞で「見せる」という意味です。

◆補足：`shadow`（物の影）と`shade`（日陰という場所）の使い分けは非常に重要です。`Let's take a break in the shade.`（日陰で休憩しよう）とは言いますが、`Let's take a break in the shadow.`とは普通言いません。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「休憩、休息、残り」です。名詞の`rest`は、主に二つの意味があります。一つは、仕事や運動などから解放された「休憩、休息」です。もう一つは、`the rest of ~`の形で「～の残り、その他全部」です。`Let's take a short rest.`（少し休憩しましょう）。`I'll finish the rest of the cleaning later.`（残りの掃除は後で終わらせます）。①「リスト」は`list`、②「抵抗」は`resistance`、③「家賃」は`rent`です。

◆補足：`rest`は動詞として「休む、休憩する」という意味でも使われます。`You've been working too hard. You need to rest.`（あなたは働きすぎだ。休む必要がある）。`restroom`（お手洗い）もこの`rest`から来ています。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②の`crash`で、名詞として「(乗り物の) 衝突事故」、動詞として「衝突する、墜落する」という意味を持ちます。特に、大きな音を立てて激しくぶつかる様子を表します。`He was involved in a serious car crash.`（彼は深刻な自動車衝突事故に巻き込まれた）。他の選択肢は、①`clash`が「(意見などの) 衝突」、③`crush`が「～を押しつぶす」、④`cash`が「現金」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：コンピュータが突然動かなくなる「フリーズ」のことも`crash`と言うことがあります。`My laptop crashed again.`（ノートパソコンがまたクラッシュした）。`a plane crash`（飛行機の墜落事故）。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「願わくは、うまくいけば」です。`hopefully`は副詞で、未来のことについて、そうなってほしいという希望を込めて述べるときに使われます。文頭に置かれて文全体を修飾することが多いです。`Hopefully, I'll be able to finish this work by 5 p.m.`（うまくいけば、午後5時までにこの仕事を終わらせるだろう）。①「絶望的に」は`hopelessly`、③「強力に」は`powerfully`、④「注意深く」は`carefully`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`hopefully`は、形容詞`hopeful`（希望に満ちた）に`-ly`が付いてできた副詞です。`hopeful`は名詞`hope`（希望）から派生しています。`hope` → `hopeful` → `hopefully`という単語のファミリーを意識すると、語彙を効果的に増やすことができます。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「現れる、～のように見える」です。`appear`は、主に二つの意味を持つ動詞です。一つは「現れる、姿を見せる」という意味です。もう一つは`seem`と似ていますが、「(外見上) どのように見える、思われる」という意味です。`A rainbow appeared in the sky.`（空に虹が現れた）。`He appears to be older than he is.`（彼は実際の年齢より年上に見える）。①「消える」は`disappear`で、`appear`の対義語です。②「訴える」は`appeal`、③「拍手する」は`applaud`です。

◆補足：名詞形は`appearance`（出現、外見）です。`seem`が主観的な推量を表すのに対し、`appear`はより外見に基づいた客観的な判断というニュアンスがあります。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③の`injury`で、「けが、負傷」を意味します。事故やスポーツなどによって身体が傷つけられた状態を指します。`The player was unable to continue the game due to a leg injury.`（その選手は脚の負傷のため、試合を続けることができなかった）。他の選択肢は、①`jury`が「陪審員団」、②`jewelry`が「宝石類」、④`journey`が「旅」という意味です。

◆補足：`injury`の動詞形は`injure`（～を傷つける）です。`a minor injury`（軽傷）、`a serious injury`（重傷）。`escape without injury`で「けもなく逃れる」となります。

15.

解答 ①

【解説】

正解は①「それにもかかわらず」です。`nevertheless`は副詞で、前に述べた事柄に反する、あるいは予期せぬ事実を導入する際に使われ、「それでもなお」という強い逆説の気持ちを表します。`The weather was cold and wet. Nevertheless, we enjoyed our trip.`（天気は寒くて雨模様だった。それにもかかわらず、私たちは旅行を楽しんだ）。②「その上」は`moreover`、③「それゆえに」は`therefore`、④「一方で」は`meanwhile`が適切な単語です。

◆補足：`nevertheless`は`however`や`nonetheless`とほぼ同じ意味で使えますが、よりフォーマルで、強調の度合いが強い響きがあります。文語的な表現なので、書き言葉で目にすることが多いでしょう。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「～の真ん中に、～の最中に」です。`in the middle of`～`は、場所的な中央だけでなく、時間的な「真っ最中」を表すこともできる便利な表現です。`There is a big lake in the middle of the forest.`（その森の真ん中に大きな湖がある）。`She called me right in the middle of my favorite TV show.`（彼女は私が大好きなテレビ番組のまさに最中に電話してきた）。②「～の前に」は`in front of`～、③「～にもかかわらず」は`in spite of`～、④「～の代わりに」は`instead of`～です。

◆補足：`middle`は「真ん中、中央」を意味する名詞です。`the middle of the road`（道路の中央）や`the middle of the night`（真夜中）のように、場所・時間を問わず使われます。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①の`cure`で、名詞として「治療法、治療薬」、動詞として「(病気・人)を治す、治療する」という二つの意味があります。`Scientists are working hard to find a cure for cancer.`（科学者たちは、がんの治療法を見つけるために懸命に研究している）。`This new drug can cure the disease completely.`（この新薬はその病気を完全に治すことができる）。他の選択肢は、②`care`が「世話」、③`sure`が「確信して」、④`pure`が「純粋な」という意味です。

◆補足：`cure A of B`で「AのB(病気)を治す」という形で使われます。`The medicine cured me of my cold.`（その薬は私の風邪を治してくれた）。`heal`も「治す」ですが、`heal`が傷やけがが自然に治癒するニュアンスで使われるのに対し、`cure`は病気を医療行為によって治すニュアンスが強いです。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②の`feel better`で、「気分が良くなる、体調が良くなる」という意味です。前の状態よりも気分や体調が改善したという「変化」を表します。`I feel much better after a good night's sleep.`（一晩ぐっすり眠ったら、ずっと気分が良くなった）。他の選択肢は、①`feel like`が「～したい気分だ」、③`feel good`が「気分が良い」（精神的な満足感）、④`feel well`が「体調が良い」という、変化ではなく現在の「状態」を表します。

◆補足：風邪をひいている人などに対して、`I hope you feel better soon.`（早く良くなるといいね）と言うのは、`Get well soon.`と並んで定番の表現です。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②の`weight`で、「重さ、体重」を意味する名詞です。`He is trying to control his weight.`（彼は体重をコントロールしようとしている）。他の選択肢は、①`wait`が「待つこと」で、`weight`と同音異義語です。③`height`は「高さ、身長」、④`width`は「幅」と、それぞれ異なる次元を表す単語です。

◆補足：`lose weight`で「体重を減らす、やせる」、`gain weight`で「体重が増える、太る」という決まった言い方になります。動詞形は`weigh`（～の重さがある、～の重さを量る）です。`How much do you weigh?`（体重はどのくらいですか？）。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「視力」です。`eyesight`は、物を見る能力を指す名詞です。`eye`（目）と`sight`（見ること、視力）が組み合わさった単語です。`My grandmother has very good eyesight for her age.`（私の祖母は年齢の割にとっても視力が良い）。②「光景」は`sight`や`view`、③「視点」は`viewpoint`や`perspective`、④「監視」は`surveillance`が適切な単語です。

◆補足：`have good/poor eyesight`で「視力が良い/悪い」と表現します。視力検査は`an eyesight test`や`a vision test`と言います。`sight`だけでも「視力」を意味しますが、`eyesight`の方がより一般的で明確です。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③の`within`で、「～以内に、～の範囲内で」という意味の前置詞です。時間、距離、範囲などの内側にあることを示します。`The package should arrive within three business days.`（その小包は3営業日以内に到着するはずです）。`This task is within my capabilities.`（この仕事は私の能力の範囲内だ）。他の選択肢は、①`without`が「～なしで」、②`with`が「～と一緒に」、④`while`が接続詞で「～する間」という意味です。

◆補足：`within`と`in`の使い分けもポイントです。時間について、`in`が「～経てば」（例：`in an hour` 1時間後）という経過を表すのに対し、`within`は「～を超えずに」（例：`within an hour` 1時間以内に）という期限の内側を強調します。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be involved in[with]`で、「～に関わっている、参加している」という意味です。ある活動や出来事、あるいは事件などに深く関係している状態を表します。`He claims that he was not involved in the crime.`（彼はその犯罪に関わっていないと主張している）。`How did you get involved in this project?`（どうやってこのプロジェクトに関わることになったのですか？）。他の選択肢は、①`be interested in`～が「～に興味がある」、③`be familiar with`～が「～に精通している」、④`be satisfied with`～が「～に満足している」という意味です。

◆補足：動詞`involve`（～を巻き込む、含む）の受け身の形です。一般的に、`in`は活動や事件（`involved in an accident`）、`with`は人や組織（`involved with a bad group`）との関わりで使われることが多いですが、厳密な区別は難しい場合もあります。

23.

解答 ③

【解説】

正解は③の`tough`で、形容詞として「(状況・仕事などが) 困難な、厳しい」ことや、「(物が) 丈夫な、頑丈な」こと、また「(人が) たくましい」ことを表します。`She has been through a tough time recently.`（彼女は最近、困難な時期を経験した）。`This bag is made of tough material.`（このバッグは丈夫な素材でできている）。他の選択肢は、①`rough`が「ざらざらした、大まかな」、②`through`が前置詞で「～を通して」、④`though`が接続詞で「～だけれども」という意味です。

◆補足：`tough`は`difficult`や`hard`と意味が似ていますが、より口語的で、精神的・肉体的な厳しさを伴うニュアンスで使われることが多いです。`a tough question`（難しい質問）。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②の`than A had expected`で、「A が予期していたよりも」という意味です。比較級の文（`more ... than`など）の後ろに続けて、過去の予想との比較を表します。過去のある時点よりもさらに前の「予想」を表すため、動詞が過去完了形`had expected`になるのが大きな特徴です。`The hotel was much nicer than we had expected.`（そのホテルは私たちが予期していたよりもずっと素敵だった）。他の選択肢は、①`as ...`では比較にならず、③は`more`が不要、④は時制が不適切です。

◆補足：`A`の部分には`I`, `we`, `they`など様々な主語が入ります。この構文は、予想と現実のギャップを表現するのに非常に便利です。`The task was easier than I had expected.`（その仕事は私が思っていたより簡単だった）。

25.**解答** ④**【解説】**

正解は④「困ったことになっている」です。`be in trouble`は、「面倒なことになっている、厄介な状況にある」という意味の熟語です。困難な状況に陥っていることや、規則を破るなどして叱られるような状況にあることを表します。`If you don't finish your homework, you'll be in trouble.`（宿題を終わらせないと、大変なことになりますよ）。①「旅行中である」は`be on a trip`、②「恋をしている」は`be in love`、③「商売をしている」は`be in business`が適切な表現です。

◆補足：`get into trouble`で「面倒なことになる」という動作を表します。`He always gets into trouble at school.`（彼は学校でいつも問題を起こす）。`trouble`は「困難、問題」を意味する名詞です。

26.**解答** ①**【解説】**

正解は①「～と言えば」です。`speaking of ~`は、会話の中で、相手の発言に出てきた言葉を受けて、それに関連する新しい話題を切り出す際に使われる表現です。`A: I'm planning to travel to Italy. B: Speaking of Italy, have you ever been to Rome?`（A: イタリアに旅行する計画なんだ。B: イタリアと言えば、ローマに行ったことはある？）。②「～について話すこと」は`speaking about ~`、③「～のおかげで」は`thanks to ~`、④「～にもかかわらず」は`in spite of ~`です。

◆補足：`speaking of`は`talking of`と置き換えることも可能です。文頭に置かれ、会話の流れを自然に変えるための便利なクッション言葉として機能します。

27.**解答** ②

【解説】

正解は②の`get better`で、「(病気・状況などが) 良くなる、改善する」という意味です。`get` + 比較級で「だんだん～になる」という変化を表し、`better` (より良い) と組み合わせることで、状態の好転を示します。他の選択肢は、①`get well`が特に病気からの回復を願う表現（`Get well soon!`「お大事に」）、③`feel better`が「気分が良くなる」、④`get over`が病気や困難を「乗り越える、克服する」という意味で、それぞれニュアンスが異なります。

◆補足：`get better`は病気の回復だけでなく、`My Japanese is getting better.`（私の日本語は上達している）のように、技術や能力、あるいは天候や経済といった、非常に幅広い状況の改善について使うことができる便利な表現です。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①の`allergy`で、特定の物質に対して体が過敏に反応する症状、つまり「アレルギー」を指します。日本語の「アレルギー」とほぼ同じ意味で使えます。`Do you have any food allergies?`（何か食物アレルギーはありますか？）。他の選択肢は、②`energy`が「エネルギー」、③`analogy`が「類推、類似」、④`apology`が「謝罪」という意味です。

◆補足：形容詞形は`allergic`です。`be allergic to`の形で「～に対してアレルギーがある」という決まった言い方になります。`I'm allergic to pollen.`（私は花粉アレルギーです）。`an allergic reaction`で「アレルギー反応」を意味します。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③の`hurt`で、自動詞として「(体の部分が) 痛む」、他動詞として「(人・体) を傷つける」という意味を持ちます。精神的な痛みを表すのにも使われます。自動詞の例：`My back hurts.`（背中が痛む）。他動詞の例：`I didn't mean to hurt your feelings.`（あなたの気持ちを傷つけるつもりはなかった）。他の選択肢は、①`heart`が「心臓」、②`hard`が「硬い、難しい」、④`hunt`が「～を狩る」という意味です。

◆補足：`hurt`の活用は`hurt - hurt - hurt`と変化しないのが特徴です。`injure`も「傷つける」ですが、`injure`がより深刻な、事故などによる怪我を指すのに対し、`hurt`はより一般的な痛みを表します。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「模様、パターン、型」です。`pattern`は、服や壁紙などの「模様、柄」や、繰り返される出来事や行動の「パターン、型、様式」を意味する名詞です。`I like the geometric pattern on this tie.`

(私はこのネクタイの幾何学模様が好きだ)。`There is a clear pattern to his mistakes.` (彼のミスには明確なパターンがある)。②「肖像画」は`portrait`、③「ポスター」は`poster`、④「親」は`parent`です。

◆補足：`a weather pattern` (気象パターン)、`a sleep pattern` (睡眠パターン)、`a behavior pattern` (行動パターン) など、科学的な分析の文脈でもよく使われます。

31.

解答 ②

【解説】

正解は②「配達、配達物」です。`delivery`は、手紙、小包、食事などを目的の場所に「配達、配送」することや、配達される「配達物」そのものを意味する名詞です。`Please allow up to five business days for delivery.` (配達には最大 5 営業日かかります)。`I'm waiting for a delivery from an online store.` (私はオンラインストアからの配達物を待っている)。①「発見」は`discovery`、③「遅延」は`delay`、④「分割」は`division`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`delivery`は動詞`deliver` (～を配達する) の名詞形です。`home delivery service` (宅配サービス)、`cash on delivery` (代金引換払い、COD)、`delivery date` (配達日) など、日常生活でよく使われる複合語がたくさんあります。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「しばらくして」です。`after a while`は、「やがて、しばらくすると」という意味で、ある程度の時間が経過した後の時点を指します。`It was difficult at first, but after a while I got used to it.`

(最初は難しかったが、しばらくして慣れた)。①「しばらくの間」という期間を表す場合は`for a while`、③「すぐに、まもなく」は`in a little while`、④「時々」は`once in a while`が適切な表現です。

◆補足：`after` (～の後) と `while` (少しの時間) が組み合わさった表現です。前置詞の違いで意味が変わる `for a while` (期間) との使い分けをしっかりと理解しましょう。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③の`even`で、「～でさえ、～ですら」という意味の副詞です。予想外のことや極端な例を挙げて、驚きを表現するのに使われます。強調したい語句の直前に置かれるのが基本です。`He can't even write his own name.` (彼は自分の名前さえ書けない)。他の選択肢は、①`ever`が「今までに、かつて」、②`own`が形容詞で「自分自身の」、④`also`が「～もまた」という意味です。

◆補足：`even if ...` (たとえ…でも) や `even though ...` (…だけれども) のように、接続詞を強調する形でもよく使われます。また、形容詞として「平らな」や「(数字が) 偶数の」という意味もあります。`an even number` (偶数)。

34.

解答 ④

【解説】

正解は④の`urgent`で、「緊急の、差し迫った」という意味の形容詞です。すぐに対応する必要がある、非常に重要で切迫した状況を表します。`This is an urgent request for medical supplies.` (これは医療品の緊急要請です)。他の選択肢は、①`urban`が「都市の」、②`usual`が「いつもの」、③`ugly`が「醜い」という意味です。

◆補足：名詞形は`urgency` (緊急性、切迫) です。`a sense of urgency` (切迫感)。`an urgent phone call` (緊急の電話) や `urgent business` (急用) といったコロケーションで使われます。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④「…かどうか」です。`whether`は、二つ以上の選択肢がある中で「…かどうか」という意味の名詞節を導く接続詞です。`I'm not sure whether I should go or not.` (私は行くべきかどうか、よくわからない)。①「天気」は`weather`で、`whether`と発音が全く同じ同音異義語です。文脈で判断することが非常に重要です。②「一緒に」は`together`、③「～のところならどこでも」は`wherever`です。

◆補足：`whether A or B`で「A か B か」という形をよくとります。`if`も「～かどうか」という意味で使えますが、`whether`の方がよりフォーマルな響きがあり、文頭に置ける、`or not`を直後に続けられる、などの文法的な違いもあります。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「診療所、クリニック」です。`clinic`は、入院設備がないか、あっても小規模な医療施設を指します。比較的軽度の病気やけがを診たり、歯科 (`a dental clinic`) や眼科 (`an eye clinic`) のよ

うに特定の分野を専門としたりすることが多いです。`The clinic is closed on Sundays.`（その診療所は日曜日は閉まっています）。①「薬局」は`pharmacy`や`drugstore`、③「臨床の」は形容詞の`clinical`、④「絶壁」は`cliff`です。

◆補足：大規模な入院設備や様々な診療科を持つ「（総合）病院」は`hospital`と呼び、`clinic`とは区別されます。`walk-in clinic`は「予約なしで入れる診療所」です。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「感覚、分別、意味」です。名詞の`sense`は、「感覚、分別、意味」など、非常に幅広い意味を持つ単語です。五感（`the five senses`）の「感覚」、良識としての「分別、センス」、言葉や文の「意味」などを指します。`He has no sense of direction.`（彼は方向感覚がない）。`What you're saying doesn't make any sense.`（君が言っていることは全く意味をなさない）。①「場面」は`scene`、②「科学」は`science`、③「文」は`sentence`です。

◆補足：コロケーションとして、`a sense of humor`（ユーモアのセンス）、`common sense`（常識）などがあります。動詞の`sense`は「～を感じる、うすうす感づく」という意味です。`I sensed some tension in the room.`（私は部屋にいくらかの緊張を感じた）。

38.

解答 ①

【解説】

正解は①「光景、場面、現場」です。`scene`は、映画や劇、小説の「場面」や、事件・事故の「現場」、あるいは心に残る特定の「光景」を指す名詞です。`The final scene of the movie was very moving.`（その映画の最後の場面はとても感動的だった）。`The police quickly arrived at the scene.`（警察はすぐに現場に到着した）。②「（地域全体の）景色」は`scenery`、③「（特定の場所からの）眺め」は`view`、④「感覚」は`sense`が適切な単語です。

◆補足：`behind the scenes`で「舞台裏で、水面下で」という重要な熟語になります。`a beautiful scene`（美しい光景）、`a dramatic scene`（劇的な場面）。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「（公式な）会議、協議会」です。`conference`は、特定のテーマについて情報交換や議論を行うための、比較的規模の大きな公式な集まりを指します。`The international conference on`

education will be held next month.' (教育に関する国際会議が来月開催される)。①「自信」は`confidence`、②「結果」は`consequence`や`result`、③「違い」は`difference`が適切な単語です。
◆補足：`meeting`も「会議」ですが、`conference`の方がより大規模で、学術大会や国際会議など、より公式な響きがあります。`a press conference` (記者会見)、`a video conference` (テレビ会議)、`conference call` (電話会議) などの複合語も重要です。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を無視する」です。`ignore`は、「～を意図的に無視する、気づかないふりをする」という意味の動詞です。人やその発言、あるいは問題などを、わざと認識しないようにすることを示します。`She ignored him and continued walking.` (彼女は彼を無視して歩き続けた)。①「～を招待する」は`invite`、③「～に知らせる」は`inform`、④「～を想像する」は`imagine`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`ignorance` (無知) です。形容詞形は`ignorant` (無知な) 。`neglect`も「無視する」と訳せますが、`neglect`はやるべき注意や世話などを「怠る」というニュアンスが強いのに対し、`ignore`は積極的に「気づかないふりをする」というニュアンスです。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②の`physically`で、「身体的に、肉体的に」という意味の副詞です。精神的 (`mentally`) なことと対比して、体に関することを表します。`The work is physically demanding.` (その仕事は肉体的にきつい)。他の選択肢は、①`fiscally`が「財政的に」、③`typically`が「典型的に」、④`magically`が「魔法のように」という意味です。

◆補足：`physically`は形容詞`physical` (身体の、物質的な) の副詞形です。`physical education` (P.E.) (体育) や`physical fitness` (身体的な健康、体力) といったコロケーションで使われます。対義語は`mentally` (精神的に) です。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①の`skin`で、「皮膚、肌」を意味します。体全体を覆っている外皮を指す最も基本的な単語です。`This lotion is good for dry skin.` (このローションは乾燥肌に良い)。他の選択肢は、

②`skeleton`が「骸骨、骨格」、③`skull`が「頭蓋骨」、④`spine`が「背骨」と、それぞれ体の異なる部分を指す単語です。

◆補足：`skin care`（スキンケア）という言葉は日本語にもなっていますね。コロケーションとしては`sensitive skin`（敏感肌）や`smooth skin`（すべすべの肌）などがあります。また、`a banana skin`のように、果物や野菜の「皮」も`skin`と言います。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④の`lifestyle`で、「生活様式、ライフスタイル」を意味します。`life`（生活）と`style`（様式）が組み合わさった単語で、個人やグループの暮らし方を指します。`Regular exercise is part of a healthy lifestyle.`（定期的な運動は健康的な生活様式の一部だ）。他の選択肢は、①`lifetime`が「一生、生涯」、②`lifeline`が「命綱、ライフライン」、③`life-size`が「実物大の」という意味です。

◆補足：コロケーションとしては、`a healthy lifestyle`（健康的な生活様式）、`a modern lifestyle`（現代的な生活様式）、`a sedentary lifestyle`（座りがちな生活様式）など、様々な形容詞と共に使われます。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②の`emotion`で、「感情、情動」を意味します。喜び、悲しみ、怒り、恐れといった、人の強く、しばしば複雑な気持ちを指します。`He spoke with great emotion about his experience.`（彼は自らの経験について、非常に感情を込めて話した）。他の選択肢は、①`motion`が「動き、動作」、③`lotion`が「ローション」、④`option`が「選択肢」という意味です。

◆補足：形容詞形は`emotional`（感情的な）です。`She is a very emotional person.`（彼女はとても感情的な人だ）。`feeling`も「感情、気持ち」ですが、`emotion`の方がより強く、内面的な心の動きを指す傾向があります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④の`fever`で、「(病気による) 熱、発熱」を意味します。体温が平熱より高くなっている状態を指します。`He stayed home from school with a high fever.`（彼は高熱のため学校を休んだ）。他の選択肢は、①`favor`が「親切な行為、好意」、②`flavor`が「風味、味」、③`forever`が「永遠に」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：「熱がある」は`have a fever`と言います。「熱を測る」は`take one's temperature`です。`fever`は病的な熱を指し、気温の「熱さ」は`heat`を使うので区別しましょう。`hay fever`で「花粉症」を意味します。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②「歯医者」です。`dentist`は、「歯科医」を意味する名詞です。歯や歯茎の病気の治療や予防を専門とする医者のことです。`I have to go to the dentist this afternoon.`（私は今日の午後、歯医者に行かなければならない）。①「医者」は一般的な`doctor`、③「芸術家」は`artist`、④「科学者」は`scientist`です。

◆補足：`dentist`の`dent-`の部分は、ラテン語で「歯」を意味します。形容詞形は`dental`（歯の）です。`a dental clinic`（歯科診療所）、`dental hygiene`（口腔衛生）。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「（食事）を出す、～に仕える」です。`serve`は、主に「（食事や飲み物）を出す、供給する」または「（人や組織）に仕える、奉仕する、役立つ」という意味の動詞です。`They serve breakfast from 7 a.m. to 10 a.m.`（彼らは午前7時から10時まで朝食を提供している）。`This machine serves a useful purpose.`（この機械は有用な目的に役立っている）。①「～を予約する」は`reserve`、②「～を保存する」は`preserve`、④「～を観察する」は`observe`です。

◆補足：名詞形は`service`（サービス、奉仕）です。`self-service`（セルフサービス）。テニスやバレーボールでボールを打って試合を始める「サーブ」もこの`serve`から来ています。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③「～と主張する、言い張る」です。動詞の`insist`は、反対や疑いがあるにもかかわらず、自分の意見や要求が正しいと強く主張することを表します。`She insisted on her innocence.`（彼女は自らの無実を主張した）。①「～を調べる」は`inspect`や`investigate`、②「～に抵抗する」は`resist`、④「～に存在する」は`exist`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`insist that ...`（…だと主張する）や`insist on ~`（～を要求する、言い張る）の形でよく使われます。`He insisted that I should accept the offer.`（彼は私がその申し出を受けるべきだと強く主張した）。名詞形は`insistence`（主張、強調）です。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①の`reaction`で、「反応、反響」を意味します。何かに対する、あるいは何かが起こったことによる、行動や態度の変化を指します。化学反応の「反応」もこの単語です。`Her first reaction was to refuse the offer.`（彼女の最初の反応は、その申し出を断ることだった）。他の選択肢は、②`relation`が「関係」、③`creation`が「創造」、④`relaxation`が「リラックス、くつろぎ」という意味です。

◆補足：動詞形は`react`（反応する）です。`react to ~`で「~に反応する」となります。`The government reacted quickly to the news.`（政府はその知らせに素早く反応した）。コロケーションとしては、`an allergic reaction`（アレルギー反応）や`a chain reaction`（連鎖反応）などがあります。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③の`suggest`で、「~を提案する」または「~をほのめかす、示唆する」という意味の動詞です。アイデアや計画などを、相手に検討してもらうために控えめに示すことを表します。`I suggest that we take a different approach.`（私たちが別のアプローチを取ることを提案します）。他の選択肢は、①`serve`が「~に仕える」、②`succeed`が「成功する」、④`digest`が「~を消化する」という意味です。

◆補足：`suggest`の後ろには、動名詞（-ing 形）や`that`節が続きます。`that`節の中では、動詞が原形になることがあります（仮定法現在）。`He suggested going to the park.`（彼は公園に行くことを提案した）。名詞形は`suggestion`（提案）です。`propose`も「提案する」ですが、より公式で真剣な提案というニュアンスがあります。
